

組合だより

【 第270号 平成28年12月 日本羊腸輸入組合 】

オートファジーの研究で大隅東工大教授がノーベル生理学・医学賞を受賞したというニュースを初めて耳にしたときに、瞬間的に頭に浮かんだのがファジー家電でした。AIが話題の今では耳にすることはありませんが、20年以上も前にファジー制御という宣伝文句でエアコン・洗濯機など白物家電には必ず使われていたと思います。ノーベル賞を受賞するほどの研究の中で、「曖昧」とか「柔軟」な研究って何だろうと思ったのは一時で、その後のノーベル賞受賞のニュースを通じ、オートファジー (Autophagy) は、ファジー (fuzzy) 理論とは全く関係なかったと知らされました。

家電のファジー制御は、判断の基が0か1かのコンピュータによる制御をファジー理論により人間が行うような微妙な (曖昧な) 感じで制御を行うという売りだったと記憶しています。機械が判断できるよう0か1の選択肢を無数に増やし、より細かい0か1の中で判断するものだと考えますが、それだけ精緻に検討した結果が、曖昧とかで言い表されるのも面白いものです。

家電の世界ではすっかり廃れてしまいましたが、仕事では〇×を決めるためにも、より多くの選択肢を用意するファジー (曖昧ではなく柔軟) な進め方は絶対に必要ですし、初めから〇か×の2つしかないということは殆どありません。いろいろな制約、事態の進捗の中で、期待したとおりに物事が進むものでもなく、事案の進展に応じた状況を受け入れ、とりあえず結論を出せるだけの情報を得るまでは、ファジーに検討するというのでしょうか。状況を見据えず、自分の判断を押し付けても、結果にこだわりすぎても、却って仕事をしづらくしている場合もあります。

当組合にとって重大課題の塩蔵30日輸入と消毒検疫輸入についても、どちらかの方法に絞ってしまえば、その先で求められる対応については選択肢が限られるので楽になると思うのですが、残念ながら、現時点ではいろんな事態に対応する方法を想定し、備えているしかない状況です。当面、白黒つけずにファジー対応でいくしかないかと考えています。

1. 11月の主な組合活動報告

○11月2日 関係省庁との意見交換

塩蔵天然ケーシングの衛生条件に関連し、農林水産省国際衛生対策室及び経済産業省農水産室関係者と意見交換を行いました。

【財務省通関統計】

平成28年10月の天然ケーシングの総輸入量は、次のとおりです。

- ・総輸入量 299.9 t (前月比△15.9 t、△ 5.0%/前年同月比+28.4t、+ 10.5%)
- ・中国原産 193.0 t (" +17.8 t、+10.2%/ " △ 0.7 t、△ 0.4%)
- ・豪州原産 71.4 t (" △24.0 t、△25.1%/ " +24.9 t、+ 53.5%)
- ・NZ原産 23.1 t (" △18.8 t、△44.9%/ " + 2.2 t、+ 10.4%)

【組合受付統計】

平成28年11月の組合受付数量は、次のとおりです。

- ・受付数量 合計：1,037,550ハクス
(羊腸：1,014,800ハクス、豚腸：22,750ハクス)
- ・前月比 +488,400ハクス(+88.9%) /前年同月比 +181,521ハクス(+21.2%)

*詳しくは組合ホームページをご確認ください。

2. 検査所だより

【横浜検査所（八幡橋消毒所）の動向】

- ①11月9日、動物検疫所で行なわれた畜霊祭に所長が出席しました。
- ②11月18日、動畜産物輸出入検疫協会主催50周年記念事業第5回セミナーに所長が出席しました。
- ③11月分の搬入数量及び消毒数量は、次表のとおりです。

種別	前月の繰越分	搬入数量	消毒数量	翌月への繰越分
羊腸	42,800	346,300	343,600	45,500
豚腸	0	7,750	2,550	5,200
計	42,800	354,050	346,150	50,700
牛腸	0	0	0	0

(単位：羊・豚腸=ハクス、牛腸=Bundle)

【新山下検査所の動向】

- ①木枯らしが吹き、寒さがひとしお身にしみるところとなりました。
インフルエンザ等の感染症が流行っておりますので、衛生管理、体調管理を徹底し、職員一同業務に励んでおります。
- ②11月分の搬入数量及び消毒数量は、次表のとおりです。

種別	前月の繰越分	搬入数量	消毒数量	翌月への繰越分
羊腸	45,500	326,600	318,100	54,000
豚腸	0	4,600	4,600	0
計	45,500	331,200	322,700	54,000
牛腸	0	0	0	0

(単位：羊・豚腸=ボックス・牛腸=Bundle)

【成田検査所の動向】

- ① 11月の航空貨物の搬入数量は、75,200ボックスで、対前月比114.3%でした。
- ② 11月14日、成田税関保税会主催保税業務初任者研修会に消毒職1名が出席しました。
- ③ 11月17日、東京税関保税会主催幹部研修会に所長が出席しました。
- ④ 11月25日、動物検疫所成田支所で行なわれた畜霊祭に所長が出席しました。
- ⑤ 11月分の搬入数量及び消毒数量は、次表のとおりです。

種類	前月の繰越分	搬入数量	消毒数量	翌月への繰越分	
航空	羊腸	7,000	75,200	77,200	5,000
	豚腸	0	0	0	0
	合計	7,000	75,200	77,200	5,000
船舶	羊腸	0	41,000	8,200	32,800
	豚腸	0	0	0	0
	合計	0	41,000	8,200	32,800
合計	羊腸	7,000	116,200	85,400	37,800
	豚腸	0	0	0	0
	合計	7,000	116,200	85,400	37,800

(単位：羊・豚腸=ボックス、牛腸=Bundle)

3. 今後の主な予定

- 12月14日(水) 平成28年度第5回理事会
- 1月18日(水) 平成28年度第6回理事会／賀詞交歓会
- 3月15日(水) 平成28年度第7回理事会

以上